

# まつど議会だより

発行／松戸市議会  
編集／広報委員会  
千葉県松戸市根本387-5  
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第76代 副議長  
おおたに しげのり  
大 谷 茂 範



第71代 議長  
しぶや つよし  
渋谷 剛 士

## 議長・副議長よりご挨拶

市民の皆さまには、平素より市議会に対しましてご理解とご協力を  
いただいておりますことに、心より御礼申し上げます。

この度、令和7年12月定例会におきまして、新たに大谷茂範副議長  
が就任いたしました。私たち両名は互いに協力し、市民福祉の向上、  
松戸市50万市民の思いを胸に二元代表制の一翼を担う議会運営を主宰  
するとともに、合意形成を図る調整役として、今後もその職責を全う  
してまいります。

さて、松戸市においては多くの課題を抱える中、昨年新しい市長が  
誕生し、市政の発展に向けさまざまな変化が見られる年となりました。  
私たち市議会議員は、市民の皆さまの多様な意見を把握し、社会情勢  
を踏まえた中で、市政が適切な方向へ進むよう見極めながら、執行機  
関の事務執行の監視と評価、政策提言を行ってまいります。  
これからも議会としての役割と責任を果たしてまいりますので、引  
き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。



楽しく  
学べる  
防災体験

## 防災フェア を開催しました!



被災地で活躍する  
レスキューバイク

松戸隆政市長も参加

消防車両と消防団員



令和7年11月8日、市立松戸高等学校で楽しみながら  
防災を体験できる「防災フェア」を開催しました。大雨  
や大地震による被害が全国各地で発生する中、一人一人  
に防災を身近に感じてもらうためのイベントです。

災害はいつ起こるかわかりません。日頃からの備えを  
心がけましょう。

●問い合わせ先 危機管理課  
TEL 047(366)7309



当日の様子

## 市議会トピックス

### ●令和7年度松戸市一般会計補正予算（第7～9回）を可決

補正額	第7回	4億9,188万6千円
	第8回	1,675万9千円
	第9回	100万円

※詳細は3面に掲載しています。

### 意見書4件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、以下の意見  
書を提出しました。

- 非核三原則の堅持を求める意見書
- 太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書
- 脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書
- 公立医療機関等に対する支援策を求める意見書

### 人事案件

公平委員会委員の選任に同意し  
ました。（敬称略）

#### ●公平委員会委員

なか がわ ゆういちろう  
中 川 裕一郎

### 議会選出監査委員

議会選出監査委員の選任に同意し  
ました。

#### ●監査委員

おり はら まさ ゆき  
織 原 正 幸

## 12月定例会

令和7年12月定例会を12月1日から12月17日まで開催しました。  
今定例会では、初日に市長から提出された公平委員会委員の選任議  
案1件に同意しました。

このほか市長から提出された補正予算を含む一般議案14件を、それ  
ぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された追加議案1  
件、監査委員の選任議案1件、議員提出議案9件を上程し、採決しま  
した。

また副議長選挙、議会運営委員の選任を行いました。

（2面に審議結果、3面に委員会の質疑を掲載）  
なお36人の議員が市政に関する一般質問を行いました。



12月定例会審議結果

■賛否など態度が分かれた市長提出議案 賛否などの態度決定に至った理由等は、市議会ホームページに掲載しています。

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	公明党								清風まつど								松戸志政会						政策実現 フォーラム・社民				日本共産党				湯浅文	柿沼光利	嶋原舞	戸張友子	鴈野聡	二階堂剛				
				飯箸公明	高橋伸之	芦田満春	丹呉顕子	井出昌子	鈴木智明	岩瀬麻理	松尾尚	伊東英一	織原正幸	市川恵一	大橋博	田中睦生	石塚裕	大和山太郎	岡本優子	中村典子	渋谷剛士	杉山由祥	末松裕人	石井勇	西田善昭	広瀬優斗	大塚健児	大谷茂範	鈴木大介	深山能一	DELI	原裕二	竹内幸枝							増田薫	工藤鈴子	宇津野史行	ミール計恵
第44号	松戸市立高等学校の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×
第47号	松戸市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
第50号	指定管理者の指定（松戸市文化会館及び松戸市民劇場）	教育環境	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
第51号	指定管理者の指定（松戸市稔台市民センター）	教育環境	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
第52号	指定管理者の指定（松戸市小金原市民センターほか7市民センター）	教育環境	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
第53号	指定管理者の指定（松戸市勤労会館及び松戸市常盤平市民センターほか7市民センター）	教育環境	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	

○：賛成 ×：反対 議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。

■全会一致の市長提出議案

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果
第40号	令和7年度松戸市一般会計補正予算（第7回）	総務財務	可決	第48号	市道路線の認定	建設経済	可決
第41号	令和7年度松戸市一般会計補正予算（第8回）	庁舎整備	可決	第49号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の一部廃止及び千葉県市町村総合事務組合同約の変更に関する協議	総務財務	同意
第42号	松戸市住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例の制定	教育環境	可決	第54号	公平委員会委員の選任（中川裕一郎氏）	—	同意
第43号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	第55号	令和7年度松戸市一般会計補正予算（第9回）	総務財務	可決
第45号	松戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	第56号	監査委員の選任（織原正幸）	—	同意
第46号	松戸市道路占用料条例等の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決				

■議員提出議案

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第10号	「放射能汚染土」の再利用の中止・撤回を求める意見書	—	否決	多数意見	第15号	非核三原則の堅持を求める意見書	—	可決	多数意見
第11号	重度心身障害者医療費助成制度の窓口無料化を求める意見書	—	否決	多数意見	第16号	太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書	—	可決	全会一致
第12号	介護保険利用者の現行利用料を維持されるよう求める意見書	—	否決	多数意見	第17号	脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書	—	可決	全会一致
第13号	スパイ防止法案を提出しないよう求める意見書	—	否決	多数意見	第18号	公立医療機関等に対する支援策を求める意見書	—	可決	全会一致
第14号	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書	—	否決	多数意見					

委員会名簿

委員会構成に変更がありました。

総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会	議会運営委員会	庁舎整備に関する特別委員会
◎伊東英一 ○大和山太郎 田中睦生 芦田満春 D E L I 鈴木智明 大塚健児※ 大谷茂範 宇津野史行 二階堂剛 市川恵一	◎岩瀬麻理 ○中村典子 石塚裕 嶋原舞 増田薫 鴈野聡 松尾尚 山口正子 高橋伸之 石井勇	◎大橋博 ○広瀬優斗 嶋村新一 湯浅文 竹内幸枝 柿沼光利 井出昌子 渋谷剛士 工藤鈴子 織原正幸 末松裕人	◎鈴木大介 ○飯箸公明 丹呉顕子 ミール計恵 戸張友子 岡本優子 西田善昭 原裕二 杉山由祥 深山能一	◎石井勇 ○織原正幸 大和山太郎 ミール計恵 増田薫※ 岩瀬麻理 西田善昭※ 大橋博 飯箸公明 市川恵一	◎末松裕人 ○飯箸公明 ミール計恵 岡本優子 鈴木智明 西田善昭 原裕二 高橋伸之 市川恵一 深山能一

# 委員会の審査から

12月9日・10日・11日・12日・15日・17日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。  
ここではその審査の中で一部の質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

※なお12月11日に開催した健康福祉常任委員会では、議案等の審査がありませんでした。

## 総務財務 常任委員会

議案第40号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第7回）

問 新焼却施設建設・管理運営業務について、解体費は含まれているのか伺う。

答 本事業の内容については、旧クリーンセンターおよび利便施設の解体、新焼却施設の建設工事、竣工後の20年間の維持管理業務が含まれている。

議案第55号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第9回）

問 全国高等学校ラグビーフットボール大会出場関係事業について、専修大学

松戸高等学校ラグビー部が第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場することに対し、費用を補助するものだが、シテイプロモーションの観点で補助をする理由を伺う。

答 専修大学松戸高等学校ラグビー部が全国高校ラグビーフットボール大会に出場することは、地元の誇りであるとともに、松戸で自己実現の喜びを伝える絶好の機会だと認識している。若い世代の挑戦を地域全体で後押しするために、支援する意義は大きいと考え提案したものであり、まつどシテイプロモーション推進方針にも合致しているため、補助を行うものである。

## 教育環境 常任委員会

議案第50号 指定管理者の指定について（松戸市文化会館及び松戸市民劇場）

問 随意指定から公募に変更した理由を伺う。

答 令和3年の随意指定による選定時では、透明性確保の観点等からさまざまな意見を頂いた。市が定める公の施設の指定管理者制度導入の基本方針においては原則公募によるものとされていることに加え、全国的に見ても公募による指定が増加傾向にある状況に鑑み、今後の本市の文化振興をさらに発展させるため、公募を実施した。

## 建設経済 常任委員会

議案第46号 松戸市道路占用料条例等の一部を改正する条例の制定について

問 不法占用対策を今後どのように進めていくのか。

答 不法占用については、道路管理者として、市民からの通報やパトロールを通じて、指導を行っている。近年ではごみ屋敷の問題があり、道路上にはみ出すことで、危険性が生じている事例もある。このように市民に危険性が生じる部分を最優先にして、今後も粘り強く所有者に働きかけながら、取り組んでいきたいと考えている。

## 庁舎整備に関する 特別委員会

議案第41号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第8回）

問 複数のビルを借り受ける中で集約化の観点から、部署全体の想定する配置は、

現在、仮庁舎の部署配置案を検討しており、松戸ビルディング商業棟では市民利用の多い窓口部門をフロア単位で集約する方向で検討している。京阪松戸ビルについても道路に面した立地を踏まえ、アクセス面等を考慮した配置を検討している。また各施設内部のレイアウトについても、動線に配慮した設計とし、全

議案第47号 松戸市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

問 水道料金改定に係る市民への周知方法を伺う。

答 市営水道の給水区域である常盤平地区では令和7年12月20日ごろ、小金地区では8年1月21日ごろから「料金改定お知らせ」のチラシを配布する予定である。また例年配布している市営水道の広報紙「水道まつど」にも料金改定の概要を掲載する。配布時期は小金地区では1月21日ごろ、常盤平地区では2月21日ごろを予定している。水道部ホームページにおいても、料金改定のページを開設し、情報の発信に努めていく。

行政サービスセンターを松戸ビルディングの商業棟へ移転することで賃料の削減が可能と考えるが、今後の経費削減の取り組みは、

行政サービスセンターについては、移転対象として検討していなかった。仮に移転する場合には、土曜日・日曜日も開設していることから、セキュリティ面の課題や他の店舗等とのトラブルを防ぐための動線等の配慮が必要になると想定している。一方で、経費削減につながる提案のため、こうした課題も踏まえつつ今後関係部署と協議をしていきたいと考えている。

# 一般質問

12月定例会では、12月2日・3日・4日・5日・8日の5日間にわたり、36人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

## 常盤平地区の下水道分流化について

公明党

伊東 英一

問 常盤平地区で合流式下水道から分流式下水道への工事を令和8年度から開始すると発表された。工事の費用と期間、下水道事業会計への影響はどの程度で、個人宅内の切り替え工事で住民の費用負担は発生するか。

答 8年度から污水管等の整備に着手し、工期は32年度までの25年間で事業費は約100億円を見込み、18年度から着手予定の浸水対策事業は事業手法が未確定のため完了時期は未定で、事業費は約150億円を見込んでいる。切り替え工事の費用について下水道利用家屋は市が負担する計画である。下水道事業会計への影響は7年3月策定の松戸市下水道事業経営戦略において財政計画を精査している。

## 国勢調査における課題と自治体の役割について

松戸志政会

鈴木 大介

問 国勢調査員の確保状況と課題、また調査員への研修、安全対策の実施状況について伺う。

答 町会・自治会への調査員の推薦依頼、本市の登録調査員への依頼、ホームページでの募集、成人式や大学での募集等に

より調査員確保に努めてきた。しかし町会役員の高齢化や共働き世帯の増加等、調査員のなり手が不足している状況であり、登録調査員に複数の調査区を依頼した地域もあった。研修については、地域ごとに30日間合計67回開催し、国の説明動画とともに市独自で作成した重要事項や注意事項の資料を用いて説明した。特に、安全対策について時間を費やし、前回発生した具体的な事故事例を説明した。



外国人市民向けのごみ分別の案内について

公明党

井出 昌子

問 ごみ分別や出し方が分からないと思われる外国人市民への対応と今後について伺う。

答 英語・中国語・韓国語・ベトナム語による「家庭ごみの分け方出し方」のチラシを作成し、市役所や各支所で配布して

いる。また簡易版を英語・中国語・ベトナム語・ネパール語で作成し、動画を市ホームページで公開している。さらに市内日本語学校2校で説明会を実施し、ごみ出しのルールが分からない外国人市民へのサポートを始めたい。今後は動画を多言語化するほか、母語でメールによる相談ができるような仕組みを構築し、転入受付時など効果的なタイミングでの周知を、関係部署と協議していく。

妊婦メンタルヘルス支援について

公明党

丹呉 顕子

問 胎児心音計の活用は、妊婦の不安軽減や家族との絆形成さらには母子の愛着形成を促す有効なツールとなる。そこでママパパ学級において胎児心音を聞く機会を設けることや、胎児心音計の貸し出し制度の導入等

を検討してはどうか伺う。  
答 家庭用胎児心音計を活用した取り組みについては、家族とともに胎児心音を聞くことにより胎児を身近に感じられるメリットがある一方、心音が聞こえない場合の不安への対応や、聞こえたから健康であるという誤解が生じるリスク等の懸念がある。そのため家庭用胎児心音計の効果に関する研究や他市の状況等も含め調査していく。



災害に対する備えについて

無所属

柿沼 光利

問 災害への備えとして、市立中学校への災害対応型自動販売機の導入について見解を伺う。

答 部活動等を行う生徒や、夏の暑い時期に多くの水分摂取が必要な場合には、飲料自動販売機の利用は熱中症対策になる

と考えられる。また災害対応型とすることで、地震等で停電した際にも無償で飲料が提供されるため、被災者等の支援に役立つものと認識している。一方で、生徒が学校にお金を持参することや予想されるトラブルへの対策やごみ問題等、自動販売機を設置した場合の使用ルール等課題もあることから、導入については、引き続き他市状況の情報を収集するとともに研究していく。



総合計画について

無所属

湯浅 文

問 市役所建て替えに関しては令和8年3月に方向性を示すとされている。建て替え場所の方向性が示されないまま松戸市総合計画の中間見直しに向けた検討をしているようだが同計画に位置付ける際の注意点を伺う。

答 松戸市総合計画の中間見直しについては、7年6月定例会において見直しの必要性を検討する旨答弁している。また9月定例会においては12月定例会を目的に検討結果を市議会へ報告する旨答弁しており、近日中に説明するとともに、意見を頂戴したいと考えている。市役所建て替えの方向性については、現在、場所の比較検討の段階にあるため、その表現が適切となるよう留意していきたい。

窓口業務について

松戸市政会

西田 善昭

問 窓口業務の受付時間短縮は、全国的に広がりつつあるが、本市でも受付時間を短縮し業務効率化を図る考えはないか伺う。

答 窓口・電話の受付時間短縮で職員がコア業務に専念でき、市民サービス向上と働き方改革の推進が期待できる。現在オンライン可能な手続きのうち、利用の多い手続き72%がオンライン化済みであり、AIチャットボット等の利用実績も増加している。また庁内手続き案内ナビゲーションの運用開始や、証明書のコンビニ交付利用率も4年間で約2・6倍となり、DXによる業務効率化等は着実に進んでいる。今後もデジタル社会に対応した行政サービスを推進し、業務効率化等に取り組んでいく。

「ミニ★まつど」について

清風まつど

田中 睦生

問 企画の経緯と実施内容の詳細、今後の展開について伺う。

答 本事業は子どもの主体的な関わりを重視し、仕事や社会の仕組みを考えることで子どもの自己肯定感を高め、まちづくりへの興味・関心や社会の一

員としての気付きを得ることを目的とし「働き」「対価をもらい」「まちの中で「消費する」ことを体験するイベントとして初めて開催した。今後は子どもの考えや意見を聞く機会を設け、それらを適切に反映する環境整備、子どもを支える大人の関わり方が重要と考え、地域、関係団体や民間企業等と連携しながら実施体制や担い手の充実に取り組んでいきたい。



定住支援について

公明党

岩瀬 麻理

問 ①若い女性の声を政策に生かすため、参加型の仕組みを創設できるか②女性・若者に松戸の魅力を感じる広報・ブランディング戦略をSNSや動画等多様な媒体でどう展開するか。

答 ①市立松戸高等学校でタ

ウンミーンティングを開催し、女性の生徒も含め意見を聞いた。今後は若い女性を対象を絞り重点的に声を取り入れることや、頂いた声を政策に反映する仕組みについて、先進事例等を参考に検討を進めたい②若い世代への情報発信としてSNSや動画は効果的だと認識しており、見てもとえる工夫等も必要だと考えている。今後は官民連携の発信方法も検討していく。



デジタルやDXを中心とした次世代行政への転換について

公明党

鈴木 智明

問 住民と行政の接点であるコミュニケーションやサービス提供の仕組みを根本的に変革し、人件費抑制や業務効率化を目指すフロントヤード改革について、本市の認識と対応状況を伺う。

答 窓口での申請書記入や電話等から、簡単に情報確認や申請等が可能となるよう変革が必要と認識し、オンライン申請等の拡充やメタマール等の導入を行っている。住民ポータルサイトの構築も進めており、フロントヤード改革への対応は着実に進んでいる。窓口来庁する市民への改革も重要であり、仮庁舎移転に合わせ、導入済みの書かない窓口システムを活用した書かないワンストップ窓口も含め、市民サービス向上に努めていく。

東部地区のまちづくりについて

清風まつど

石塚 裕

問 東部地区のターミナル駅である東松戸駅周辺は人口増加エリアでありながら、飲食店舗、医療機関、娯楽施設等が不足している。東松戸駅周辺のまちづくりについて、現状の認識と今後の取り組みを伺う。

答 東松戸駅は鉄道によるアクセスが良好であるが、駅周辺に商業機能をはじめ、都市機能の集積が進んでいない状況にあることは認識している。本市の将来を見据えた上では、東松戸駅周辺のまちづくりは大変重要であると捉えている。中長期的には北千葉道路の整備に伴う産業誘致を考えており、これと並行して、鉄道事業者等と官民連携したまちづくりにより、さらなる発展に取り組んでいきたい。



## 生成AIの活用について

無所属

鴈野 聡

問 AI事業者ガイドラインでは、AI提供者の透明性とアカウンタビリティを要求している。情報漏洩のリスクを軽減する上でも、透明性およびアカウンタビリティ確保は必要不可欠と考えるが、見解を伺う。

答 人口減少社会等において、市民サービス向上と業務効率化を図るには、生成AI等は大きな可能性と効果を生むツールだと考えている。まずは市民サービス向上を目的として公開している情報等を学習させ、24時間365日迅速かつ的確に答える生成AIの活用等を検討していく。その際は利用しているAIモデルや学習内容の情報提供を行い、透明性およびアカウンタビリティ確保に努めていく。

## 松戸市公園整備ガイドライン(案)について

日本共産党

ミール 計恵

問 ①市民要望の記載の基準は②公共用地がある場所は、公園用地を確保しやすいが、ない場所での土地の確保や整備の優先度および解消方法を伺う。

答 ①平成30年以降の地区意見交換会で挙げた公園整備の



要望を主に記載している。他にも要望を頂いており、実施予定のパブリックコメントで同様の意見があれば、修正を検討していく②本案は実施予定のパブリックコメントを経て令和8年4月に策定予定で、策定後は公園空白地域ごとに地域特性に応じた公園整備アクションプランを別途定める予定であり、公園整備の必要性も考慮し公園整備候補地の検討を行っている。

## 松戸市財政運営の基本方針について

公明党

織原 正幸

問 ①松戸市財政運営の基本方針において、実施時期を調整するとされた事業について、本市の将来にとって重要な事業と認識しているか②実質単年度収支黒字化の目標は、大型事業を実施できるだけの収支改善を目

指すものと理解してよいか伺う。  
答 ①松戸市財政運営の基本方針に基づき、大型事業の実施時期を整理したが、これらの事業は本市にとって重要であると認識している②実質単年度収支黒字化3か年計画を達成するための財政運営における当該取り組みについては、大型事業を含む必要な投資を進めていくためのものであり、慣例にとらわれることなく今後も財政健全化に向けて積極的に取り組む。

## 庁内会議について

政策実現フォーラム・市民DELI

問 総合政策会議の会議録は、説明、質問、回答が混在し、意思決定状況が検証できない。松戸市長は情報公開を徹底し、説明責任を果たす考えであると思うが、総合政策会議の会議録はどのようにあるべきか伺う。

答 総合政策会議は市政運営の基本方針および重要施策を審議する会議であり、政策形成過程の説明責任を果たす視点を持つことは重要と認識している。そこで開かれた行政運営の観点から、運用の見直しを検討した結果、他市の状況等も参考に会議内容を要約した会議録の公開を原則とするよう令和7年11月から変更した。今後も庁内会議を効果的、効率的に行い、政策形成の透明性を確保していく。

## 市長の公約について

政策実現フォーラム・市民DELI

工藤 鈴子

問 高齢者の「外出を支える環境整備」の公約について、外出支援として交通機関の運賃軽減パスがあれば運動不足や引きこもりを防止でき、健康維持や医療費の節約につながると考える。財政状況が厳しい中で簡単

ではないと思うが、具体化の見通しを伺う。  
答 現在、外出支援策の第一歩として地域の互助によるグリーンスローモビリティ地域推進事業を実施しており、生活支援の観点からも送迎を含んだ付き添い支援等、拡充を図っている。新たな支援施策については限りある財源を考慮した上で、これまでの施策と調和を図るとともに、ハードとソフトの両面から総合的に検討を進めていきたい。

## 保育所・保育園について

公明党

芦田 満春

問 保育の質の確保について、本市で現在取り組んでいること、また今後の展望を伺う。

答 本市では、保育所保育指針等に基づき外部講師による研修を年9回実施している。また小規模保育事業所の連絡協議会



や市内全保育施設を対象とした地区別懇談会を定期的に開催し、施設間の情報共有を促している。特に地区別懇談会は主任等のミドルリーダーが参加し、得られた知見や事例が職員全体に浸透し、保育の質の向上につながっている。今後の展望として、市全体のミドルリーダー育成を推進し、実践的な学びが組織全体に広がる仕組みを整え、保育の質の向上に一層努めていく。

## 公園再編整備計画について

政策実現フォーラム・市民DELI

増田 薫

問 市内の都市公園のリニューアルにおける基準および公園のケヤキ2本が枯れた原因と、再発防止策について伺う。

答 都市公園は遊具等の老朽化やバリアフリーの未対応、樹木が大きく成長する等の課題が

ある。リニューアルは地域に愛され地域とともに成長する公園を基本理念に、地域特性を生かした誰もが快適に安心して利用できる公園づくりを目指している。ケヤキが枯れた原因は、舗装の表層安定剤として使用された塩化カルシウムによる塩害障害や、地上部に飛び出した根のつまりき防止のため切削したこと等が考えられる。今後は工事受注者と密なコミュニケーションをとり再発防止を図っていく。

## 松戸市内障がい者就労施設等による通路販売会について

無所属

戸張 友子

問 障がいのある方が利用する施設等で作られる製品の販売促進については、障がいのある方の社会的自立や活動の理解を進め「誰もが生きられる社会づくりが進められるSDGs」につながると考える。本市も新庁

舎建設に伴って庁舎内に常設販売所を設置できないか伺う。  
答 新庁舎に求められる機能については、松戸市内障がい者就労施設等による常設販売所の設置等を含め、新庁舎の立地場所が確定した後に策定予定の新たな新庁舎整備基本計画の中で、市民の皆さまや各種団体等の意見を伺うとともに、関係部局とも協議の上、検討していきたいと考えている。



## 自転車走行空間の整備について

政策実現フォーラム・市民DELI

竹内 幸枝

問 「松戸市自転車走行空間ネットワーク整備計画」はどのような方針に基づいて策定したのか。また自転車利用者の声を計画に反映する考えはあるか。

答 本計画は平成30年7月に歩行者と自転車の安全性や利便

性の向上を目的として策定し、令和7年9月の改訂後は各地域間を結ぶ幹線道路や鉄道駅を結ぶ路線など駅周辺の路線を選定して整備を進めている。計画の策定に当たっては、道路管理者としての専門的な知見や安全性の観点を基本としつつ、これまでに市民の方から頂いた意見や要望も参考にしている。今後も誰もが安全・安心に道路を通行できるよう、交通管理者とも連携を図り、整備を推進していく。



学校教育の改善に向けて

日本共産党

嶋村 新一

問 ①小学校体育大会における学校対抗得点制に教育的意義があるとする理由は②「松戸市運動部活動指導の指針（小学校版）」における教職員の部活動指導の負担軽減について市の考えと、同指針改訂の進捗を伺う。

答 ①同大会は体育の学習で習得した陸上運動をさらに発展させる内容に取り組み機会、競技を通じて市内の児童同士が交流を深める場となっており、成就感や達成感を味わえるよう努めている②児童や教職員に過度な負担がかからないよう活動の実施期間・日数・時間等を計画し、実施している。指針は児童の活動実態に合った改訂となるよう、本年度に複数回の検討委員会を開催し、進めている。

ペットの終活について

清風まつど

岡本 優子

問 高齢者を対象とした「ながいき手帳」に、緊急時のペット情報を記入する欄等を組み込む等、既存の資源を活用した予防的アプローチを検討する考えはあるか。また地域包括支援センター等が「ながいき手帳」を

活用し、環境部門との連携を深め、実効性のあるものにすべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 飼い主の入院等でペットの行き場がなくなる問題は、高齢者の生活を取り巻く課題と認識している。高齢になると、不測の事態が生じるリスクが高まることから、事前の備えの意識を高めていただくよう「ながいき手帳」を活用した啓発に向け、環境部門と協力しペットに関わる掲載内容の検討を進めていく。

産前産後の支援について

清風まつど

中村 典子

問 大阪府泉大津市では、マタニティ応援プロジェクトとして、出産予定月まで毎月10キロ、栄養価の高い金芽米を届けている。本市でもこのような事業を取り入れてみてはどうか伺う。

答 マタニティ応援プロジェクトは、特別な技術で精米された栄養価の高い米を支給すること、妊婦の健康と経済の支援を行い、相談支援につなげる事業である。泉大津市と本市では、人口規模や出生数の差はあるが、一つの事業で複数の目的を達成する仕組みや、民間と連携した妊産婦支援は参考になると認識している。既存事業の見直し等、新たな視点を持ち妊産婦支援の充実に向け検討を進める。



子どもの学習支援事業について

清風まつど

大和山 太郎

問 現在市内6カ所で学習支援事業を行っているが、その目的について伺う。

答 家庭の経済格差により、学習する機会が十分に得られず、将来が閉ざされることがないよう、経済的課題を抱える家庭への支援が、重要であると認識している。本市としては、生活困窮世帯の児童生徒に対し、学習支援や居場所の提供、さらに各会場に心理カウンセラーを配置し、子どもの学校や日常生活における相談に対応している。今後においても、生まれた環境にかかわらず、全ての子どもが能力や可能性を最大限に伸ばし、それぞれの夢や目標に挑戦できるように、学習支援の充実に努めていきたい。

常盤平地域のまちづくりについて

松戸志政会

広瀬 優斗

問 本市の現在の取り組みと、今後のスケジュールを伺う。

答 現在、令和9年度中における「常盤平地域のまちづくり計画」の策定を目指して、さまざまな取り組みを進めている。またまちづくりの気運を醸成するため、本年度よりUR都市機構との共同事業として「常盤平SONOプロジェクト」を開催している。具体的には常盤平団地内でのキッチンカーの出店やまちあるきとトークイベントの開催、公共空間や団地内の空間を活用したイベントを行っている。この活動を通じて、常盤平地域のまちづくりに関心を持ち、まちづくりが動いていると実感できるように、将来の常盤平地域を考えるきっかけとしたい。

引きこもり支援について

公明党

高橋 伸之

問 引きこもりや生きづらさを感じている方の支援策の一つとして「釣り」が注目されている。本市が民間団体等と連携し釣り体験を実施してはどうか。また不登校支援につながると考えるが、市の考えを伺う。

答 釣りが引きこもり支援の一つとなる可能性を認識しており、基幹相談支援センター等を通じて体験会の開催を周知すること等は可能と考える。また体験活動は児童生徒の自己肯定感を高め、社会性を身に付ける等さまざまな効果があると考えられる。不登校の児童生徒が通える松戸市教育支援センターではさまざまな体験活動に取り組んでおり、今後も児童生徒の成長につながるよう取り組む。

街のみどりと高齢者の健康について

公明党

飯箸 公明

問 千葉大学の研究では、玄関周りの植物が高齢者の健康増進につながる可能性があるとされているが、本市においても玄関へのみどり普及に向けたモデル事業を行う考えはないか伺う。

答 令和6年度から取り組んでいる「食べられる景観づくり・エディブルウェイプロジェクト」の一環で、松戸駅から千葉大学園芸学部までの沿道にお住まいの方の玄関先で園芸活動を実施している。次年度には普及用冊子の配布を予定しており、健康づくりにもつながる活動の広がりを期待している。7年6月に開催した全国「みどりの愛護」のつどいを機にみどりが持つさまざまな機能を生かし、魅力あるまちづくりを進めていく。

国際交流について

清風まつど

杉山 由祥

問 本市とオーストラリアホワイトホース市との姉妹都市締結55周年を記念しての相互訪問プログラムの拡充、また市民がオーストラリア文化や多角的な魅力を体験できる文化イベントや啓発活動を具体的にどのような

に計画しているか伺う。

答 55周年記念事業についてはホワイトホース市側からの意向を踏まえ、オンライン会談とし、訪問は見合わせる予定であるが、さまざまな行事開催を検討している。また両市の今後の発展につながる事業を検討し、進めていく考えである。これまでの姉妹都市交流を基軸に、令和8年度は節目の年として、両市の持続的発展につながるように取り組むを進めていく。

歳入向上の具体的な取り組みについて

政策実現フォーラム・市民

原 裕二

問 ①現状の市財政状況に鑑み、企業誘致にもっと注力すべきではないか②北千葉道路の延伸に伴う開発、特に企業誘致について、市の考えを伺う。

答 ①本市における企業誘致の促進は、税収増につながる重要な施策と認識している。今後も地域経済の持続的成長につながる企業誘致に取り組むべく、企業立地促進補助金の上限撤廃等を含め、近隣市との差別化を図った企業支援制度の強化・制度作りを検討していく②北千葉道路は今後の東部地区のまちづくりと密接に関連することから、関係部署等と連携し地域の価値向上や企業誘致等による経済基盤の強化につながる取り組みを進めていきたいと考えている。



街づくりについて

日本共産党

山口 正子

馬橋駅東口の駅前広場は狭く、広場から続く県道も道幅が狭いため、駅にバスの乗り入れができない。駅前広場と道路の拡幅について、馬橋駅東側の再開発および道路整備をどのように考えているか伺う。

再開発事業については、平成27年度から28年度にかけて検討を行ったが、事業採算性の観点から収支の見通しが立たず、地権者の合意形成も得られなかったことから、検討は休止している。また道路整備については、道路幅員が狭く安全上の課題があることは認識しているが、当該道路は県道であるため、道路管理者である千葉県と意見交換を行っているところである。



JR新八柱駅前南側ロータリー整備について

無所属

二階堂 剛

JR新八柱駅前南側ロータリーの改修が関係機関との協議で遅れている。今後の整備の進捗を伺う。

現在「新八柱・八柱地区バリアフリー基本構想」および「松戸市無電柱化推進計画」に

基づきバリアフリー化と無電柱化を一体的に進めている。令和2年度から設計に着手し、7年度は事業に支障となる埋設管の切り直し工事を行っている。8年度から電線共同溝の整備に着手し、完了後にバリアフリー化の整備を実施していく。当該事業では交通利便性が向上する他、バリアフリー化による移動の円滑化、また災害リスク減少等に寄与できると認識しており、事業の早期完了を目指していく。

まちづくりについて

松戸市政会

深山 能一

矢切の渡し公園の今後について、本市の考えを伺う。

矢切の渡し公園は約2ヘクタールを都市公園として整備する計画を立て、松戸駅周辺まちづくり委員会に諮問した。その後示された答申により、公園

の暫定整備を行い最低限必要な基盤整備は完了している。しかし当公園は総合公園の位置付けであるため、イベント等を開催しニーズを聞き、市外からの広域利用を想定した施設整備を検討する。さらに矢切地区のまちづくりについて、松戸市都市計画マスタープラン等で定めたことから、今後同委員会に報告し、矢切の渡し公園の今後の進め方および位置付けについて、具体的な整備内容の検討を進めたい。

新松戸駅東側地区土地区画整理事業について

日本共産党

宇津野 史行

令和7年12月20日に開催される市民説明会へ臨む市の姿勢は②マンシヨンの収支不足について、採算性向上を目指すのであれば建設費の赤字10億円と敷地代20億円を含む計30億円に採算点を設定するのは当然と

考えるが市の見解を伺う。①公表可能な情報は市民へ公表するという考えのもと、事業概要等を説明予定である②総事業費圧縮の検討を進め、保留床処分金が事業計画書に記載の金額を上回るよう、保留床取得予定事業者と協議を行う。併せて不動産調査による時点修正を実施の上、保留床売買契約への向け協議を行い、土地区画整理審議会等に意見聴取し、保留床処分金を決定する予定である。

市民参加のまちづくりについて

清風まつど

末松 裕人

地域社会を支える役割として欠くことのできない民生委員や保護司等、公的な委嘱を受けた制度ボランティアは担い手不足が顕在化している。新たな受け手が引き受けやすい活動環境を実現していかなければなら

ないと考えるが市の見解を伺う。行政から委嘱を受けた民生委員・児童委員や保護司等については、担い手不足から欠員が生じている状況であり、本市としても喫緊の課題であると認識している。国・千葉県の動向を注視しつつ、まずは活動の中で負担軽減を図れるものについては、松戸市民生委員児童委員協議会で検討し、当該事務の担当課や社会福祉協議会等、関係機関を交え協議していく。

インフラストラクチャーについて

無所属

嶋原 舞

水道や下水道等の運営権を民間企業に委託するコンセッション方式等、水道事業における官民連携の動きを本市は把握しているか。併せて公設公営と比較した場合の検討状況は。

官民連携は平成30年度の

水道法改正により、水道事業の基盤強化のための選択肢の一つとして位置付けられたと認識している。コンセッション方式は民間の技術力等を活用し、運営コスト削減が期待される一方、運営が公営から民営となることで災害時対応や水質管理等への不安の声もある。これらを踏まえ、本市水道事業は安全・安心な水の供給という目的に鑑み、公設公営による運営を継続していく。



バス路線の再編について

清風まつど

大橋 博

京成バス千葉ウエストが運行する松飛台線の東松戸駅への延伸について、バス事業者との協議はどのような状況か。またこの延伸は「松戸市地域公共交通計画(案)」に掲げる「路線バスの維持・利便性の向上」

に資する再編に該当すると思うが、市の見解を伺う。東松戸駅への延伸により鉄道駅と周辺地域とのアクセスが向上し利用者増加も期待できることから、路線維持と地域の利便性向上に資するとともに同計画の方向性に合致する検討事項と認識している。市はバス事業者との協議を再開しており延伸要請を行っている。令和7年度中に実現可能性も含め一定の方向性を示したいと考えている。

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。

市内在住の障害者手帳(視覚障害)をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

●問い合わせ先  
松戸市障害者福祉センター (ふれあい22内)  
TEL 047(383)7111



ちょっと一息

シティー・ミニコンサートにお越しになりませんか♪

市議会の議場でシティー・ミニコンサートを毎月開催しています。

音楽を聴きながら、お昼のひとときをゆっくりお過ごしください。



会場：松戸市役所議会棟3階議場  
今回は2月18日(水)12時15分～45分(予定)  
皆さまのお越しをお待ちしています！



3月定例会の開催予定

令和8年松戸市議会3月定例会は、2月20日（金）から3月24日（火）まで、いずれも午前10時より開催する予定です。  
請願は、2月10日（火）正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月20日(金)	招集日・本会議 (施政方針・議案提案理由説明)
24日(火)	各常任委員会（先議議案審査）
27日(金)	本会議（先議議案採決）
3月2日(月)	本会議（一般質問）
3日(火)	本会議（一般質問）
4日(水)	本会議（一般質問・議案質疑）
5日(木)	総務財務常任委員会
9日(月)	健康福祉常任委員会
10日(火)	教育環境常任委員会
11日(水)	建設経済常任委員会
13日(金)	予算審査特別委員会
16日(月)	予算審査特別委員会
18日(水)	予算審査特別委員会
19日(木)	予算審査特別委員会
24日(火)	本会議（議案等の採決）

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。  
また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会傍聴について

傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課  
TEL 047(366)7381



議会中継

松戸市議会の情報を  
ホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。



マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

箕輪信矢市議が  
逝去



市議会議員  
・箕輪信矢氏  
(松戸志政会)  
が令和7年11

月23日に58歳で逝去されました。  
箕輪氏は、平成10年に初当選され、5期にわたり住民の福祉向上と市政の発展のためにご尽力されました。その間、教育経済常任委員会委員長、都市整備常任委員会委員長、監査委員など要職を歴任し、経験豊富な議員として長年にわたり活躍されました。  
心よりお悔やみ申し上げます。

会派別一覧

会派構成に変更がありました。  
松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

(令和8年1月5日現在)

<b>公明党 10人</b> ◎ 飯高 芦丹 井鈴 岩松 伊織 ○ 明之春子 子明 理尚 一幸 公伸 満 顕 昌 智 麻 英 正 箸橋 田 呉 出 木 瀬 尾 東 原	<b>清風まつど 10人</b> ◎ 市大 田 石 大 岡 中 渋 杉 末 ○ 川橋 中 塚 山 本 村 谷 山 松 恵 睦 太 優 典 剛 由 裕	<b>松戸志政会 7人</b> ◎ 石西 広 大 大 鈴 深 ○ 井田 瀬 塚 谷 木 山 ※ 勇 昭 斗 児 範 介 一 ※ 善 優 健 茂 大 能	<b>政策実現 フォーラム・社民 5人</b> ◎ 増 田 薫 ○ 原 竹 内 裕 D E 幸 工 藤 鈴 子	<b>日本共産党 4人</b> ◎ 宇津野 史 行 ○ ミール 計 恵 嶋 村 新 一 山 口 正 子
<b>無所属</b> 湯 浅 文			<b>無所属</b> 柿 沼 光 利	<b>無所属</b> 鴈 野 聡
<b>無所属</b> 湯 浅 文			<b>無所属</b> 戸 張 友 子	<b>無所属</b> 二階堂 剛

議員数合計 42人

◎ 幹事長 ○ 副幹事長 ※ 新たな幹事長・副幹事長

編集の窓



2026年最初の「議会だより」をお届けします。  
今年も、皆さまの声にしっかりと耳を傾け「松戸に住んで良かった」と感じていただけるよう、議員一同力を合わせてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は「うま年」です。うま年には「物事がうまくいく」「大きく飛躍する」といった前向きな意味が込められているといわれています。さらに2026年のうま年は、幸運を呼び込み、挑戦する気持ちやスピーディーな決断が成功につながる年ともされています。

一方で、世界では戦争が続き、私たちの暮らしも物価の高騰で厳しい状況が続いています。だからこそ、市議会は皆さまの生活を守るために、一つ一つの課題に丁寧に向き合い、安心を届けていかなければなりません。

「議会だより」を通じて、議員一人一人の思いを伝え、安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みを分かりやすく発信してまいります。

議会だよりの編集を  
担当しています  
広報委員会

委員長 中村 典子  
副委員長 田中 睦生  
委員 嶋村 新一  
芦田 満春  
丹 呉 顕子  
広 瀬 優斗  
大和 山 太郎  
増 田 善 薫  
西 田 伸之  
高 橋 伸之



次回発行予定は5月1日（金）です